(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7528639号
(P7528639)

(45)発行日　令和6年8月6日(2024.8.6)

(24)登録日　令和6年7月29日(2024.7.29)

(51)国際特許分類

Ｂ４１Ｊ　15/04　(2006.01)	Ｂ４１Ｊ	15/04	
Ｂ４１Ｊ　2/01　(2006.01)	Ｂ４１Ｊ	2/01	３０５
Ｂ４１Ｊ　11/70　(2006.01)	Ｂ４１Ｊ	11/70	
Ｂ６５Ｈ　7/14　(2006.01)	Ｂ６５Ｈ	7/14	

FI

請求項の数　13　（全20頁）

(21)出願番号　特願2020-143304(P2020-143304)
(22)出願日　令和2年8月27日(2020.8.27)
(65)公開番号　特開2022-38685(P2022-38685A)
(43)公開日　令和4年3月10日(2022.3.10)
審査請求日　令和5年7月20日(2023.7.20)

(73)特許権者　000002369
セイコーエプソン株式会社
東京都新宿区新宿四丁目１番６号
(74)代理人　100179475
弁理士　仲井 智至
(74)代理人　100216253
弁理士　松岡 宏紀
(74)代理人　100225901
弁理士　今村 真之
(72)発明者　伊東 瞬
長野県諏訪市大和３丁目３番５号 セイコーエプソン株式会社内
審査官　畔津 圭介

最終頁に続く

(54)【発明の名称】　記録装置

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

ロール状の長尺媒体である記録媒体に記録を行う記録部と、

前記記録部に対向して配置され前記記録媒体を支持する支持部と、

前記記録媒体の搬送方向において、前記支持部の下流で前記長尺媒体を切断して単票媒体とする切断部と、

ストレート面と曲面とを有し、前記搬送方向において、前記切断部の下流で前記記録媒体を案内する案内部材と、

前記搬送方向において、前記案内部材の下流で前記長尺媒体を巻き取る巻取部と、

前記搬送方向において、前記案内部材の下流で前記単票媒体を収容する着脱可能な媒体収容部と、を備え、

前記案内部材は、前記媒体収容部に搬送される前記記録媒体を前記ストレート面で支持する第１支持位置と、前記巻取部に搬送される前記長尺媒体を前記曲面で支持し、前記第１支持位置より上方となる第２支持位置とに変位可能であることを特徴とする記録装置。

【請求項２】

請求項１に記載の記録装置であって、

前記案内部材は、前記第１支持位置に配置された場合、前記支持部が前記記録媒体を支持する位置よりも下方に排出される前記単票媒体を支持して前記媒体収容部に案内することを特徴とする記録装置。

【請求項３】

請求項２に記載の記録装置であって、
前記媒体収容部は、前記案内部材の前記第１支持位置より下方に設置され、前記単票媒体を収容することを特徴とする記録装置。
【請求項４】
請求項１に記載の記録装置であって、
前記案内部材は、前記第２支持位置に配置された場合、前記支持部が前記記録媒体を支持する高さ位置で前記長尺媒体を支持し、前記巻取部に案内することを特徴とする記録装置。
【請求項５】
請求項１～請求項４のいずれか一項に記載の記録装置であって、
前記切断部の下流に排出ローラー対を有し、
前記案内部材の前記長尺媒体を案内する前記曲面の曲率は、前記排出ローラー対のうち下側に配置されるローラーの外周の曲率よりも小さいことを特徴とする記録装置。
【請求項６】
請求項５に記載の記録装置であって、
前記案内部材は、前記第２支持位置に配置された状態において、前記排出ローラー対が前記長尺媒体を挟持する高さ位置で当該長尺媒体を案内することを特徴とする記録装置。
【請求項７】
請求項１～請求項６のいずれか一項に記載の記録装置であって、
前記案内部材は、前記第２支持位置に配置された状態において、前記搬送方向の下流側から前記記録部に前記単票媒体を供給する際に、前記単票媒体を支持することを特徴とする記録装置。
【請求項８】
請求項１～請求項７のいずれか一項に記載の記録装置であって、
前記案内部材は、前記第２支持位置より上方で、前記記録装置の内部にアクセス可能な開放位置に変位可能であることを特徴とする記録装置。
【請求項９】
請求項１～請求項８のいずれか一項に記載の記録装置であって、
前記案内部材は、前記搬送方向の上流側に回動軸を有し、前記回動軸を中心に回転して変位することを特徴とする記録装置。
【請求項１０】
請求項１～請求項９のいずれか一項に記載の記録装置であって、
前記案内部材の位置を検出する検出センサーを備え、前記案内部材の位置と、出力モードとが不一致の場合に報知することを特徴とする記録装置。
【請求項１１】
請求項１～請求項１０のいずれか一項に記載の記録装置であって、
前記案内部材に設置される係合部と、
前記記録装置の内部に設置され、前記係合部を受ける係合受け部と、を有し、
前記案内部材は、前記係合部が前記係合受け部に係合することにより、それぞれの位置に位置決めされることを特徴とする記録装置。
【請求項１２】
請求項１～請求項１１のいずれか一項に記載の記録装置であって、
前記案内部材の変位を制御する制御部と、
前記案内部材を、前記第１支持位置と前記第２支持位置とに変位させる駆動部と、を備え、
前記制御部は、排出される前記記録媒体の態様に応じて前記駆動部を駆動させ、前記案内部材を、前記第１支持位置と前記第２支持位置とに変位させることを特徴とする記録装置。
【請求項１３】
請求項１２に記載の記録装置であって、

前記制御部は、排出される前記記録媒体の態様を、切断処理の有無、前記媒体収容部の装着の有無により判断することを特徴とする記録装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【０００１】

本発明は、記録装置に関する。

【背景技術】

【０００２】

従来、ロール紙への印刷を行う印刷装置が知られている。例えば、特許文献１の印刷装置では、ロール紙を排出する際に下方から媒体を支持して下方に設置されるスタッカーに案内する案内部材が開示されている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【０００３】

【文献】特開２０１８－１４９７１７号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【０００４】

特許文献１では、案内部材は、排出される媒体の排出先や媒体の態様などに応じて案内部材の位置が変位するなどの構成は開示されていない。従って、排出先がスタッカーやロール状の筒である場合や、または、媒体の種類などに応じて対応することができず、適切な排出が行えないという課題がある。

【課題を解決するための手段】

【０００５】

記録装置は、ロール状の長尺媒体である記録媒体に記録を行う記録部と、前記記録部に対向して配置され前記記録媒体を支持する支持部と、前記記録媒体の搬送方向において、前記支持部の下流で前記長尺媒体を切断して単票媒体とする切断部と、前記搬送方向において、前記切断部の下流で前記記録媒体を案内する案内部材と、前記搬送方向において、前記案内部材の下流で前記長尺媒体を巻き取る巻取部と、前記搬送方向において、前記案内部材の下流で前記単票媒体を収容する着脱可能な媒体収容部と、を備え、前記案内部材は、前記媒体収容部に搬送される前記記録媒体を支持する第１支持位置と、前記巻取部に搬送される前記長尺媒体を支持し、前記第１支持位置より上方となる第２支持位置とに変位可能である。

【図面の簡単な説明】

【０００６】

【図１】実施形態に係る記録装置を前面側から見た斜視図。

【図２】記録装置の概構成を示す概断面図。

【図３】案内部材を変位させる係合部と係合受け部の動作を示す概側面図。

【図４】案内部材を変位させる係合部と係合受け部の動作を示す概側面図。

【図５】案内部材の第１支持位置を示す概側面図。

【図６】案内部材の第１支持位置を示す概斜視図。

【図７】案内部材の第２支持位置を示す概側面図。

【図８】案内部材の開放位置を示す概側面図。

【図９】案内部材が第１支持位置に位置する場合の記録媒体の排出を示す側断面図。

【図１０】案内部材が第２支持位置に位置する場合の記録媒体の排出を示す側断面図。

【図１１】案内部材が開放位置に位置する場合の廃液ボックスを示す側断面図。

【発明を実施するための形態】

【０００７】

１．実施形態

実施形態に係る記録装置１の概略構成について説明する。

本実施形態の記録装置１は、ロール状の長尺媒体である記録媒体（用紙）に液体としてのインクを吐出して記録（印刷）するインクジェット方式の記録装置である。また、記録装置１は、図１、図２に示すように、筒状の芯部材２５に記録媒体としての長尺媒体Ｓがロール状に巻き重ねられた円筒形状を有するロール紙Ｒを使用する。本実施形態の記録装置１は、短辺幅がＡ３（２９７ｍｍ）以上の長尺媒体Ｓに印刷を行う大判用の記録装置である。

【０００８】

詳細には、ロール紙Ｒを構成する長尺媒体Ｓの種類は複数ある。例えば、写真用紙などの曲げ剛性が大きい長尺媒体Ｓや、普通紙などの写真用紙に比べて曲げ剛性が小さい長尺媒体Ｓが使用される。また、長尺媒体Ｓのサイズも複数ある。例えば、Ａ０サイズ～Ａ３サイズの長尺媒体Ｓが使用される。また、本実施形態の記録装置１は、記録用の媒体としてロール紙Ｒのみではなく、矩形状の単票紙やボード紙なども、筐体１０内部に供給することによって記録することができる。

【０００９】

以降の図面では、記録装置１が水平面上に載置された状態とし、水平面に沿う方向として、記録装置１の前後方向をＸ方向とし、Ｘ方向に直交する左右方向（又は長尺媒体Ｓの幅方向）をＹ方向とする。また、水平面に対して鉛直方向（上下方向）をＺ方向とする。また、前方向を＋Ｘ方向、後方向を－Ｘ方向、右方向を＋Ｙ方向、左方向を－Ｙ方向、上方向を＋Ｚ方向、下方向を－Ｚ方向とする。

【００１０】

以降では、ロール紙Ｒから繰り出される長尺媒体Ｓを主に記録装置１を説明する。

図１、図２に示すように、記録装置１は、直方体形状の筐体１０、及び記録装置１の各部を支持するフレーム２７を備えている。筐体１０はフレーム２７に連結される。また、フレーム２７は、脚部を構成する複数のキャスター２８により支持されている。

【００１１】

記録装置１は、ロール紙Ｒを収容する収容部１１と、収容部１１に収容されるロール紙Ｒから繰り出された長尺媒体Ｓを記録部１３に搬送する搬送部１２と、長尺媒体Ｓに記録を行う記録部１３と、を備えている。また、記録装置１は、記録部１３に対向して配置され、長尺媒体Ｓを支持する支持部１４と、記録された長尺媒体Ｓを切断する切断部１５とを備えている。ここで、長尺媒体Ｓを切断して単票媒体となったものを以降では、単票媒体Ｓ１と呼称する。

【００１２】

なお、本実施形態の記録装置１は、ロール紙Ｒから繰り出された長尺媒体Ｓを記録後に切断する場合や、切断せずに巻き取る場合がある。また、単票紙やボード紙などに記録を行う場合には切断しない。切断部１５の動作の有無は、ユーザーの操作パネル２０への指示入力や、制御部２４に記憶される出力モードなどで制御される。

【００１３】

記録装置１は、切断部１５で切断された長尺媒体Ｓ（単票媒体Ｓ１）などを、筐体１０の前方向の装置外部に排出する排出部１７を備えている。記録装置１は、長尺媒体Ｓの搬送方向Ａにおいて、支持部１４の搬送方向Ａの下流で長尺媒体Ｓを案内する案内部材３０を備えている。案内部材３０は、排出部１７から排出される長尺媒体Ｓを案内する。

なお、以降の説明において、搬送方向Ａの下流を単に「下流」として表記する。同様に、搬送方向Ａの上流を単に「上流」と表記する。

【００１４】

収容部１１は、筐体１０の前側で、左右方向の略中央部に開口部１１１を有すると共に、前側から後側に向かって延びた空間を有し、ロール紙Ｒを着脱自在に収容する。また、収容部１１は、前側に２つのロール紙Ｒを高さ方向に並べて収容する。ロール紙Ｒは、ロール紙Ｒを回転可能に保持する保持部材２６を両端部にそれぞれ設置する。そして、開口部１１１の左右方向及び下方向に固定される保持部１１２に保持部材２６が保持される。保持部材２６は、駆動部（図示省略）によって回転駆動されることにより、保持部材２６

が保持するロール紙Ｒを芯部材２５の中心軸回りに回転させる。
【００１５】
保持部１１２は、上段のロール紙Ｒと下段のロール紙Ｒとに対応させて、上段と下段との２つに分離されている。そして、上段の保持部１１２は、開口部１１１に固定されており、下段のロール紙Ｒは、保持部材２６を設置して所定の位置に前側から挿入することで設置する。下段の保持部１１２は、前後方向に移動可能に形成されており、前方向に引き出した後、保持部材２６を設置したロール紙Ｒを保持部１１２の所定の位置に上側から挿入し、保持部１１２を後方向に押し戻すことで、下段のロール紙Ｒが収容部１１に設置される。また、それぞれのロール紙Ｒを収容部１１（保持部１１２）から取外す場合には、それぞれ設置する場合とは逆の手順により取外すことができる。
【００１６】
搬送部１２は、ロール紙Ｒから繰り出された長尺媒体Ｓを支持部１４（記録部１３）に向けて搬送する。搬送部１２は、搬送経路形成部１２２、中間ローラー対１２３、及び搬送ローラー対１２４などを有している。搬送部１２は、駆動モーター（図示省略）の正転駆動により、中間ローラー対１２３及び搬送ローラー対１２４を回転駆動することで、搬送経路１２１を通じて長尺媒体Ｓを支持部１４へ搬送すると共に、支持部１４の上面となる支持面１４１上を排出部１７に向けて搬送する。
【００１７】
なお、図２では、２つのロール紙Ｒの双方から長尺媒体Ｓが繰り出されている状態を図示しているが、実際の印刷時には一方のロール紙Ｒから長尺媒体Ｓが繰り出される。また、本実施形態の記録装置１は、一方（本実施形態では上段）のロール紙Ｒを保持部１１２から取外して、保持部材２６を設置した芯部材２５を設置することができる。そして、他方の（本実施形態では下段）のロール紙Ｒから長尺媒体Ｓを繰り出して記録を行い、記録の終了した長尺媒体Ｓを切断せずに、保持部１１２に設置した芯部材２５に巻き取って行く巻取部１８として使用することが可能である。詳細は後述する。
【００１８】
記録部１３は、図２に示すように、長尺媒体Ｓに記録（印刷）を行う。記録部１３は、長尺媒体Ｓに向かってインクを吐出するヘッド１３１と、ヘッド１３１を搭載するキャリッジ１３２と、幅方向に沿って配置されたガイドレール１３３とを備える。また、記録部１３は、キャリッジ１３２をガイドレール１３３に沿って往復移動させる移動機構（図示省略）を備える。なお、ヘッド１３１と対向する位置には、長尺媒体Ｓを支持面１４１で支持する支持部１４が設置されている。ヘッド１３１は、キャリッジ１３２と共に、長尺媒体Ｓの幅方向に往復移動しながらインクを吐出することで、支持部１４に支持された長尺媒体Ｓに記録を行う。
【００１９】
記録装置１は、支持部１４に対して長尺媒体Ｓの下流側に、切断部１５と排出ローラー対１６と、案内部材３０とを備えている。支持部１４（支持面１４１）は、記録部１３のヘッド１３１の往復移動する領域に相対して、左右方向及び前後方向に延びて形成されるだけでなく、下流に設置される切断部１５の近傍に至るまで延びて形成されている。
【００２０】
切断部１５は、図２に示すように、記録が終了した長尺媒体Ｓを切断する。切断部１５は、排出部１７よりも後面側で、記録部１３よりも前面側に位置する。切断部１５は、幅方向（左右方向）に切断刃（図示省略）が往復移動することで、長尺媒体Ｓを切断位置で幅方向にわたって切断する。
【００２１】
切断部１５の下流には、排出ローラー対１６が設置される。排出ローラー対１６は、駆動する駆動ローラー１６１と、駆動ローラー１６１の回転に従動して回転する従動ローラー１６２とで構成されている。排出ローラー対１６は、記録媒体を排出する際、駆動ローラー１６１と従動ローラー１６２との間に記録媒体を挟持する。
【００２２】

排出ローラー対１６の直ぐ下流には案内部材３０が設置されている。案内部材３０は、支持部１４を通過した長尺媒体Ｓを支持すると共に、長尺媒体Ｓを排出部１７に案内する。案内部材３０は、排出部１７を構成すると共に、筐体１０の前側に露出している。なお、駆動モーター（図示省略）の正転駆動により、排出ローラー対１６を回転駆動することで、長尺媒体Ｓは案内部材３０に案内されて排出部１７の排出口１７１から排出される。

【００２３】

上下方向において、案内部材３０と収容部１１（開口部１１１）との間には、簡易的な簡易スタッカー１９が筐体１０の内部に収容されている。簡易スタッカー１９は、左右方向の長さが案内部材３０と略同様で、例えば矩形のフレーム状に構成され、その内側には単票媒体Ｓ１を収容する布製のネット（図示省略）が巻取機構（図示省略）に巻き取られて設置されている。簡易スタッカー１９は前方向に移動可能となっている。なお、筐体１０内部に収容された状態では、簡易スタッカー１９の前方向の端面は、筐体１０から突出しない。

【００２４】

簡易スタッカー１９を使用する場合、簡易スタッカー１９を前方向に引き出し、出し切った状態で使用する。なお、簡易スタッカー１９の前方向への移動に従動して、ネットが巻取装置から巻き解かれる。この状態で、単票媒体Ｓ１を排出口１７１から排出することにより、簡易スタッカー１９の前後方向で凹状に垂れ下がる形態のネット（図示省略）に長尺媒体Ｓが収容される。なお、簡易スタッカー１９は、排出時に必ず使用しなければならない部材ではない。簡易スタッカー１９を使用しない場合には、前述と逆の動作を行い、筐体１０内部に収容される。なお、簡易スタッカー１９を後方向に移動させることにより、ネットは巻取機構に巻き取られる構成となっている。

【００２５】

筐体１０の収容部１１（開口部１１１）の右方向の前側には、インク用カバー２１が回動可能に設置されている。インク用カバー２１は、左端側の上下方向に設けられた回動軸（図示省略）を中心に右端側が前方向へ回動した場合、内部が露出する構成となっている。インク用カバー２１の右端側が前方向へ回動した場合、液体の一例としてのインクを収容するインクカートリッジが着脱可能に設置されるカートリッジホルダー（いずれも図示省略）が露出する。この状態で、ユーザーは、記録装置１の前方向からインクカートリッジを交換することができる。

【００２６】

筐体１０の天面１０ｅで、右端部の前方向には、記録装置１への操作指示が行える操作パネル２０が設置されている。操作パネル２０は、チルト機構（図示省略）を備えているため、操作パネル２０を操作しやすい位置に傾けて使用することも可能である。ユーザーは、前方向から記録装置１に対して出力モードなどの操作指示を行うことができる。

【００２７】

記録装置１は、制御部２４を備えている。制御部２４は、複数の電子部品から構成される電気回路として形成されている。制御部２４は、筐体１０の後側の下部に設置される回路基板２４１に構成されている。制御部２４は、操作パネル２０と電気的に接続されており、ユーザーの操作指示入力に基づいて記録装置１の制御を行う。制御部２４は、記録装置１を構成する各部の動作を統括制御する。制御部２４は、表示部を兼ねる操作パネル２０やインジケーター（図示省略）や報音部（図示省略）などを通して、ユーザーに情報を表示することや、報知することができる。

【００２８】

案内部材３０の構成について説明する。

案内部材３０は、上述したように、排出ローラー対１６の直ぐ下流に設置され、長尺媒体Ｓを排出部１７に案内する。本実施形態の案内部材３０は、上流側に回動軸３１を有し、回動軸３１を中心にして、３つの位置に変位（回転）させることが可能である。

【００２９】

図６は、案内部材３０の第１支持位置を示す概斜視図であり、案内部材３０を左側の前

方向から視た場合の斜視図である。
案内部材３０は、図６に示すように、排出口１７１と同様の幅寸法で、幅方向に沿って形成されている。案内部材３０は、前方向の面において、側面視で所定の曲率で形成される曲面を有し、この曲面が幅方向にわたって繋がる第１案内部３２を備えている。第１案内部３２の上方には、幅方向にわたって所定のピッチで、第１案内部３２の曲面と同様の曲面がつながる端面を有し、前後方向で上方向に突出してリブ形状に形成される第２案内部３３が複数形成される。
【００３０】
第１案内部３２の曲面がつながる第２案内部３３の上方向の端部から、幅方向にわたって、また、上流側にわたって、側面視で緩やかな凹形状となる板状の壁部３４が形成される。壁部３４は、上流側（後方向）に進むに従って下方向に傾斜する形態となる。その壁部３４の上面には、幅方向にわたり所定のピッチで、ストレートな端面を有し、前後方向で上方向に突出してリブ形状に形成される第３案内部３５が複数形成される。
【００３１】
なお、第１案内部３２と第２案内部３３との曲面は、搬送される長尺媒体Ｓを案内する案内面３０ａとして機能する。そして、案内部材３０の第１案内部３２と第２案内部３３とが有する曲面（案内面３０ａ）の曲率は、排出ローラー対１６のうち、下側に配置されるローラーとなる駆動ローラー１６１の外周の曲率よりも小さく形成される。
【００３２】
案内部材３０の幅方向の両側の端部３６は、第１案内部３２の曲面（案内面３０ａ）と同様の曲率の曲面を有し、第２案内部３３よりも上方向に延び、前側から上側にかけて側面視でＲ形状に形成されている。また、両側の端部３６は、図３～図５に示すように、上流側でフレーム２７に設置される回動軸３１を囲む状態に形成されている。
【００３３】
図３～図５に示すように、案内部材３０の両側の端部３６には、案内部材３０が回動軸３１を中心として回動し、案内部材３０自身の位置を変位させる機構として、係合部５０がそれぞれ構成されている。また、係合部５０を受ける係合受け部７０（係合受けピン７１）がフレーム２７に固定されている。案内部材３０の両側の端部３６に構成される案内部材３０自身の位置を変位させる機構は、それぞれ同様に構成されるため、以降では、右側の端部３６に構成される機構を取り上げて説明する。
【００３４】
案内部材３０は、係合部５０を用いて変位させ、フレーム２７に固定される係合受け部７０に係合させることにより、それぞれの位置（３つの位置）に位置決めされる。
【００３５】
係合部５０は、端部３６の右側の側面３６ａにおいて、回動軸３１の下流側に設置される。係合部５０は、多角形の外形を有し、板状に形成される係合板５１を有している。係合板５１は、中央部で上下方向に、回動軸３１を軸中心とする同心円状でスリット状となる、変位用スリット孔５２が形成される。そして、変位用スリット孔５２に接続して後方向に延びるスリット状の孔となる、第１係合スリット孔５３、第２係合スリット孔５４、第３係合スリット孔５５の３つのスリット孔が形成される。
【００３６】
第１係合スリット孔５３は、変位用スリット孔５２の上端部に形成され、第３係合スリット孔５５は、変位用スリット孔５２の下端部に形成される。そして、第２係合スリット孔５４は、第１係合スリット孔５３と第３係合スリット孔５５との間で、第３係合スリット孔５５寄りに形成される。第１係合スリット孔５３は、案内部材３０を後述する第１支持位置に固定する際の位置に対応している。また、第２係合スリット孔５４は、案内部材３０を後述する第２支持位置に固定する際の位置に対応している。そして、第３係合スリット孔５５は、案内部材３０を後述する開放位置に固定する際の位置に対応している。
【００３７】
案内部材３０が回動軸３１を中心に回動する際に、固定されている係合受けピン７１は

、この変位用スリット孔５２に位置する。案内部材３０を２つの支持位置と１つの開放位置に変位（回転）させて固定する場合には、必ずこの３つのスリット孔（第１係合スリット孔５３～第３係合スリット孔５５）のいずれかに係合受けピン７１が位置するように回転させる。

【００３８】

係合板５１には、案内部材３０を変位させる際に、係合受けピン７１を変位用スリット孔５２に位置させるために、係合板５１を上流側にスライドさせるスライド孔となる第１スライド孔５６、第２スライド孔５７が形成されている。第１スライド孔５６、第２スライド孔５７は、回動軸３１の軸中心に向かって長孔に形成されている。

【００３９】

この第１スライド孔５６と第２スライド孔５７とに対応させて、端部３６の側面３６ａには、第１固定ネジＳＣ１と第２固定ネジＳＣ２とが設置される。なお、第１固定ネジＳＣ１と第２固定ネジＳＣ２とのそれぞれの頭部の径が、第１スライド孔５６と第２スライド孔５７とのそれぞれの短手方向の幅より大きく構成される。これにより、係合板５１は、端部３６の側面３６ａに固定され、第１固定ネジＳＣ１と第２固定ネジＳＣ２を基準にして上流側、下流側にスライド可能となる。

【００４０】

また、案内部材３０を変位させる際には、係合板５１をスライドさせることで、係合状態にある係合板５１と係合受けピン７１との係合を解除させることが必要となる。その係合板５１をスライドさせて係合を解除させる部材が、係合解除板６０である。係合解除板６０は、係合板５１の下流側に設置される棒状で板状に形成される。係合解除板６０は、下方向の端部に回動軸６１を有している。そして、上方向の先端部６２は、曲面を有する先端面６２ａで形成されている。

【００４１】

なお、係合板５１は、下流側の下方向にコイルばね６５の一方の端部を固定するばね固定部５８が形成されている。また、端部３６の側面３６ａには、コイルばね６５の他方の端部を固定するばね固定部（図示省略）が形成されている。

【００４２】

ここで、図３、図４は、案内部材３０の動作を示す概側面図である。詳細には、図３は、案内部材３０が第１支持位置に固定された場合の係合板５１、係合受けピン７１、係合解除板６０などを示す。図４は、案内部材３０を第１支持位置から第２支持位置や開放位置に変位させる場合の、係合板５１、係合受けピン７１、係合解除板６０などの動作を示す。

【００４３】

案内部材３０には、図１に示すように、案内部材３０の左右方向の中央部の下側に取っ手部３８が形成されている。ユーザーは、案内部材３０を変位させる場合、この取っ手部３８に手を差し入れ、内側に設置されるレバー（図示省略）を前側に移動させる。このレバーは、案内部材３０の内部で、継手部材（図示省略）などを介して係合解除板６０に連結されており、レバーを前側に移動させた場合、図４に示すように、係合解除板６０は、回動軸６１を中心に、右方向からの平面視で時計回り方向に回転する。

【００４４】

この動作により、図４に示すように、係合解除板６０の先端面６２ａは、係合板５１の端面５０ａを押圧しながら端面５０ａを摺動する。これに対して、係合板５１は、第１固定ネジＳＣ１、第２固定ネジＳＣ２を基準にして、また、コイルばね６５の引張力に抗して、第１スライド孔５６、第２スライド孔５７に沿って、上流側に移動する。

【００４５】

また、図３～図５に示すように、案内部材３０の端部３６には、回動軸３１の上流側で、扇形状で上流側に延出する遮光板３７が形成されている。遮光板３７は、図５に示すように、案内部材３０が所定の支持位置及び開放位置に位置した場合に、後述する光学式の検出センサー４０の光を遮光することで、その位置を検出する際に用いる。

【００４６】
次に、案内部材３０が、第１支持位置に位置する場合について説明する。
図５は、案内部材３０が第１支持位置に位置する場合を示している。
【００４７】
記録装置１において、案内部材３０が初期的に設定される位置が第１支持位置である。記録装置１は、主に、案内部材３０を第１支持位置に固定して使用される。第１支持位置は、ロール紙Ｒから繰り出された普通紙などの曲げ剛性が小さい長尺媒体Ｓを切断部１５で切断し、単票媒体Ｓ１として排出口１７１から排出する場合の位置となる。第１支持位置において、案内部材３０の係合板５１は、係合受けピン７１を、第１係合スリット孔５３に係合させている。
【００４８】
案内部材３０を、他の位置から第１支持位置に変位させる場合の操作を説明する。
ユーザーは、最初に案内部材３０の前側の取っ手部３８に手を差し込み、レバーを前側に移動させることで、係合解除板６０を動作させ、係合板５１を上流側にスライドさせる。これにより、他の位置に係合されていた係合受けピン７１が、変位用スリット孔５２に移動する。言い換えると、係合板５１を上流側にスライドさせて、第２係合スリット孔５４や、第３係合スリット孔５５に位置していた係合受けピン７１を、変位用スリット孔５２に移動させる。
【００４９】
その後、ユーザーは、案内部材３０が第１支持位置となるように、取っ手部３８を支えて押し下げる。このときには、ユーザーはレバーを前側に移動させていなくてもよい。この動作により、案内部材３０は、回動軸３１を中心に下方向に回転し、係合受けピン７１が、変位用スリット孔５２の上端部に当たる。
【００５０】
係合受けピン７１が、変位用スリット孔５２の上端部に当たると、変位用スリット孔５２の上端部に接続する第１係合スリット孔５３に係合受けピン７１が位置することで、コイルばね６５の引っ張り力により、係合解除板６０が初期位置（図３参照）に戻る。これに併せて、係合解除板６０に押圧されて上流側にスライドしていた係合板５１が、下流側にスライドすることで、係合受けピン７１は、第１係合スリット孔５３に係合する。この動作により、案内部材３０は、第１支持位置に変位して固定される。
【００５１】
次に、案内部材３０が、第２支持位置に位置する場合について説明する。
図７は、案内部材３０が第２支持位置に位置する場合を示している。なお、第２支持位置は、第１支持位置よりも上方に位置する。
【００５２】
第２支持位置は、ロール紙Ｒから繰り出された写真用紙などの曲げ剛性が大きい長尺媒体Ｓを、案内する場合の位置となる。そして、記録された長尺媒体Ｓは、案内部材３０の下方（搬送方向Ａの下流）で、収容部１１の上段の保持部１１２に設置された、保持部材２６が設置された芯部材２５に巻き取られる。なお、保持部材２６が設置された芯部材２５などにより、巻取部１８が構成される。第２支持位置において、案内部材３０の係合板５１は、係合受けピン７１を、第２係合スリット孔５４に係合させている。
【００５３】
案内部材３０を第１支持位置から第２支持位置に変位させるには、上述したと同様に、案内部材３０の取っ手部３８に手を差し込み、レバーを引き、係合解除板６０を回転させることにより、係合板５１をスライドさせ、第１支持位置の係合（第１係合スリット孔５３と係合受けピン７１との係合）を解除する。
【００５４】
その後、案内部材３０を上方向に回動させ、第２係合スリット孔５４に接続する変位用スリット孔５２の位置に、係合受けピン７１を位置させると、コイルばね６５の引っ張り力により、係合解除板６０が初期位置に戻る。これに併せて、係合解除板６０に押圧され

て上流側にスライドしていた係合板５１が、下流側にスライドすることで、係合受けピン７１は、第２係合スリット孔５４に係合する。この動作により、案内部材３０は、第２支持位置に変位して固定される。

【００５５】

なお、本実施形態の係合板５１は、図４に示すように、第１係合スリット孔５３において、その下方の外形が下方向に傾斜して広がるテーパＴ１を有して、変位用スリット孔５２に接続している。この形状により、案内部材３０の取っ手部３８に手を差し込み、レバーを引かなくても、そのまま、取っ手部３８を上方向に持ち上げると、係合受けピン７１がこの第１係合スリット孔５３のテーパＴ１を摺動して変位用スリット孔５２に移動させることができる。

【００５６】

従って、ユーザーは、案内部材３０の取っ手部３８に手を差し込み、そのまま上方向に持ち上げることで、案内部材３０を第１支持位置から第２支持位置に変位させることが可能となっている。言い換えると、案内部材３０を第１支持位置から第２支持位置に変位（上昇）させる場合は、係合解除板６０で係合を解除しなくても、変位させることができる。なお、案内部材３０を第２支持位置から第１支持位置に変位（下降）させる場合は、通常通りに係合解除板６０で係合を解除して変位させることになる。

【００５７】

なお、第２支持位置は、写真用紙などの曲げ剛性が大きい長尺媒体Ｓを、案内するだけではなく、ロール紙Ｒは用いずに、単票紙やボード紙などの単票媒体を、搬送方向Ａの下流側から上流側（搬送方向Ａとは反対方向）に向かって記録部１３に単票媒体を供給する際に、単票媒体を支持する位置ともなる。

【００５８】

詳細には、本実施形態では、単票紙やボード紙などの単票媒体を、排出口１７１から記録部１３に向けて搬送方向Ａとは反対方向に搬送させることができる。この場合には、各ローラーは搬送方向Ａとは反対方向に搬送するように回転する。そして、第２支持位置に固定される案内部材３０は、排出口１７１から単票媒体を挿入する際に単票媒体を支持する。

【００５９】

なお、供給された単票紙やボード紙などの単票媒体の上流側端部は、一旦、筐体１０の後面側から装置外部に出た後、搬送方向Ａに搬送されて記録が行われる。記録が行われた単票紙やボード紙などの単票媒体は、再度、案内部材３０に支持され排出口１７１から排出される。

【００６０】

次に、案内部材３０が、開放位置に位置する場合について説明する。

図８は、案内部材３０が開放位置に位置する場合を示している。なお、開放位置は、第２支持位置よりも上方に位置する。

【００６１】

開放位置は、案内部材３０が排出口１７１を略塞ぐ位置となる。従って、案内部材３０が開放位置に位置する場合、記録媒体は排出されない。案内部材３０が開放位置に位置する場合、案内部材３０の下方が開放される状態となり、記録装置１の内部にアクセスすることが可能となる。

【００６２】

詳細には、案内部材３０の下方で、記録装置１の内部には、メンテナンス用の廃液ボックス９０が着脱可能に設置されている。そして、案内部材３０を開放位置に変位させることにより、この廃液ボックス９０を前方向に引き出すことで、記録装置１から取り外すことができる。また、廃液ボックス９０を元の位置に装着することができる。開放位置において、案内部材３０の係合板５１は、係合受けピン７１を、第３係合スリット孔５５に係合させている。

【００６３】

案内部材３０を第２支持位置から開放位置に変位させるには、上述したと同様に、案内部材３０の取っ手部３８に手を差し込み、レバーを引き、係合解除板６０を回転させることにより、係合板５１をスライドさせ、第２支持位置の係合（第２係合スリット孔５４と係合受けピン７１との係合）を解除する。

【００６４】

その後、案内部材３０を上方向に回動させて、係合受けピン７１が、変位用スリット孔５２の下端部に当たると、変位用スリット孔５２の下端部に接続する第３係合スリット孔５５に係合受けピン７１が位置することで、コイルばね６５の引っ張り力により、係合解除板６０が初期位置に戻る。これに併せて、係合解除板６０に押圧されて上流側にスライドしていた係合板５１が、下流側にスライドすることで、係合受けピン７１は、第３係合スリット孔５５に係合する。この動作により、案内部材３０は、開放位置に変位して固定される。

【００６５】

なお、本実施形態の係合板５１は、図４に示すように、第２係合スリット孔５４において、その下方の外形が下方向に傾斜して広がるテーパＴ２を有して、変位用スリット孔５２に接続している。この形状により、案内部材３０の取っ手部３８に手を差し込み、レバーを引かなくても、そのまま、取っ手部３８を上方向に持ち上げると、係合受けピン７１がこの第２係合スリット孔５４のテーパＴ２を摺動して変位用スリット孔５２に移動させることができる。

【００６６】

従って、ユーザーは、案内部材３０の取っ手部３８に手を差し込み、そのまま上方向に持ち上げることで、案内部材３０を第２支持位置から解放位置に変位させることが可能となっている。言い換えると、案内部材３０を第２支持位置から解放位置に変位（上昇）させる場合は、係合解除板６０で係合を解除しなくても、変位させることができる。なお、案内部材３０を解放位置から第２支持位置に変位（下降）させる場合は、通常通りに係合解除板６０で係合を解除して変位させることになる。

【００６７】

図９は、案内部材３０が第１支持位置に位置する場合の記録媒体の排出を示す側断面図である。案内部材３０が第１支持位置に位置する場合の長尺媒体Ｓ（単票媒体Ｓ１）の排出動作について説明する。

【００６８】

案内部材３０を第１支持位置に位置させることで、支持部１４が記録媒体を支持する位置よりも下方に排出される単票媒体Ｓ１を支持して媒体収容部としての大容量スタッカー８０に案内する。大容量スタッカー８０は、図９に示すように、搬送方向Ａにおいて、案内部材３０の下流で着脱可能に筐体１０に装着される。また、大容量スタッカー８０は、案内部材３０の第１支持位置より下方に設置され、単票媒体Ｓ１を収容する。

【００６９】

大容量スタッカー８０は、図９に示すように、ロール紙Ｒを用いた場合に、排出部１７から排出される単票媒体Ｓ１を順次積載するための積載部８１と、積載部８１を支持する複数の積載用フレーム８２と、複数の積載用フレーム８２を受けて、高さ方向に延びる例えば４本の脚用フレーム８３と、を有する。脚用フレーム８３の下端部には、キャスター（図示省略）が取り付けられ、大容量スタッカー８０が移動可能となっている。また、積載部８１には、単票媒体Ｓ１を受ける積載面８１１が構成される。なお、積載面８１１は、図９に示すように、排出方向Ｂに沿って緩やかに上昇する傾斜面として構成されている。

【００７０】

図９では、記録装置１に装着した大容量スタッカー８０に、直前に排出された単票媒体Ｓ１が積載されている状態を示している。大容量スタッカー８０の積載面８１１に、排出された単票媒体Ｓ１が積載される場合、単票媒体Ｓ１の搬送方向Ａ（排出方向Ｂ）の上流側の端部となる後端部Ｓ１ｂは、案内部材３０の第３案内部３５上に位置した状態で順次積載される。

【００７１】
言い換えると、案内部材３０は、第１支持位置に位置することで、大容量スタッカー８０に単票媒体Ｓ１を積載する際の、積載面８１１の一部を構成する。更に言い換えると、案内部材３０は、積載経路の一部を構成している。
【００７２】
そして、次に搬送される長尺媒体Ｓの搬送方向Ａの下流側の端部となる前端部Ｓａは、排出ローラー対１６に挟持されて、排出口１７１から排出方向Ｂに排出されてくる。その場合、長尺媒体Ｓの前端部Ｓａが下方向に下がり、側面視で上に凸形状に湾曲しながら排出される。そして、長尺媒体Ｓは、前端部Ｓａが積載面８１１に近くなり、積載されている単票媒体Ｓ１に当接した場合、先端部Ｓａは、積載されている単票媒体Ｓ１の面に沿いながら摺動して排出方向Ｂに移動していく。
【００７３】
そして、記録が終了し、長尺媒体Ｓが所定の長さになった場合、切断部１５で長尺媒体Ｓが切断され、単票媒体Ｓ１が形成され、排出口１７１から単票媒体Ｓ１が排出される。その場合、排出された単票媒体Ｓ１の後端部Ｓ１ｂは、案内部材３０の第３案内部３５上に積載されている単票媒体Ｓ１の後端部Ｓ１ｂの上部に同様に位置して積載される。
【００７４】
図１０は、案内部材３０が第２支持位置に位置する場合の記録媒体の排出を示す側断面図である。案内部材３０が第２支持位置に位置する場合の長尺媒体Ｓの排出動作について説明する。
【００７５】
案内部材３０を第２支持位置に位置させることで、ロール紙Ｒを用いて記録された長尺媒体Ｓを切断せずに、巻取部１８で巻き取ることができる。なお、案内部材３０を第２支持位置に位置させた場合、案内部材３０は、支持部１４が長尺媒体Ｓを支持する高さ位置と略同様の位置で長尺媒体Ｓを支持し、巻取部１８に案内する状態となる。また、同様に、案内部材３０を第２支持位置に位置させた場合、案内部材３０は、排出ローラー対１６が長尺媒体Ｓを挟持する高さ位置と略同様の位置で長尺媒体Ｓを支持し、巻取部１８に案内する状態となる。
【００７６】
上述する位置関係により、支持部１４から案内部材３０に至る間で、長尺媒体Ｓが下方向に移動することを防いでいる。また、特に、排出ローラー対１６の下側のローラーとなる駆動ローラー１６１は、曲率が大きいため、排出ローラー対１６が長尺媒体Ｓを挟持する高さ位置と略同様の位置で長尺媒体Ｓを支持することにより、長尺媒体Ｓが下方向に移動して曲率が大きい駆動ローラー１６１に巻き付くことを防いでいる。これにより、長尺媒体Ｓの品質を維持している。
【００７７】
巻取部１８は、搬送方向Ａの下流で、案内部材３０の下方となる収容部１１において、本実施形態では、上段の保持部１１２に設置される。また、巻取部１８は、保持部材２６が設置された芯部材２５などからなる巻取りロール体Ｒ１、及び巻取りロール体Ｒ１を巻取り方向Ｃに回転させる駆動部（図示省略）などにより構成される。
【００７８】
巻き取る際には、長尺媒体Ｓは、排出ローラー対１６の駆動ローラー１６１と、案内部材３０の第１案内部３２と第２案内部３３とが有する曲面となる案内面３０ａと、巻取りロール体Ｒ１との間で、テンションが掛った状態で、長尺媒体Ｓの搬送に同期して巻き取られる。
【００７９】
本実施形態での巻取部１８に巻き取られる記録媒体は、上述したように、写真用紙などの曲げ剛性が大きい長尺媒体Ｓとなる。なお、収容部１１において、下段の保持部１１２に設置され、記録媒体を記録部１３に供給するロール紙Ｒは、この写真用紙が巻き重ねられたものである。

【００８０】
なお、案内部材３０において、第１案内部３２と第２案内部３３との案内面３０ａは、搬送される長尺媒体Ｓを摺動させて案内する。そして、上述したように、案内部材３０の第１案内部３２と第２案内部３３とが有する曲面（案内面３０ａ）の曲率は、排出ローラー対１６のうち、下側に配置されるローラーとなる駆動ローラー１６１の外周の曲率よりも小さく形成されている。
【００８１】
また、写真用紙は、記録面となる面に、画像品質を向上させるためのコート層を有している。コート層は、曲率が大きいもの（曲面の半径が小さいもの）に支持されて摺動した場合、コート層が割れやすい特性を有している。本実施形態では、駆動ローラー１６１の有する曲面に支持されて摺動した場合には、コート層が割れやすくなる。
【００８２】
しかし、本実施形態の案内部材３０の第１案内部３２と第２案内部３３とが有する案内面３０ａに支持されて摺動する場合にはコート層が割れることがない。言い換えると、案内部材３０の第１案内部３２と第２案内部３３とが有する案内面３０ａの曲率を、コート層が割れない曲率となるように、発明者らの実験などにより設定されている。
【００８３】
図１１は、案内部材３０が開放位置に位置する場合の側断面図である。案内部材３０が開放位置に位置する場合について説明する。
【００８４】
案内部材３０を開放位置に位置させることで、メンテナンス用の廃液ボックス９０を取外し、また、装着することができる。廃液ボックス９０は、記録媒体に対して縁なし印刷を行った場合に、記録媒体の幅方向の両端部から外側に吐出されたインクを流路（図示省略）などにより集めて廃液ボックス９０に流入させる。廃液ボックス９０は、案内部材３０の幅方向の両端部の下方で、また、支持部１４の下方に、着脱可能に１つずつ設置されている。
【００８５】
廃液ボックス９０は、概略、廃液を収容する箱状の収容部９１と、収容部９１の前方向に取っ手部９２とを備えて構成されている。また、廃液ボックス９０は、前後方向に移動可能となるようにフレーム（図示省略）に支持されている。
【００８６】
案内部材３０を開放位置に変位させることにより、排出口１７１を塞ぐ状態となる。そして、案内部材３０の下方で筐体１０の前面側には、記録装置１の内部の廃液ボックス９０が露出する状態となる。ユーザーは、この状態で、廃液ボックス９０の手前の取っ手部９２に指先を掛けて、前方に引き出すことにより、廃液ボックス９０を記録装置１から取外すことができる。また、ユーザーは、交換する廃液ボックス９０を、取り外した場合とは逆の手順で元の位置に装着することができる。
【００８７】
次に、図５、図７、図８を参照して、案内部材３０の支持位置を検出するセンサー及び制御部２４について説明する。
本実施形態の記録装置１は、案内部材３０が変位する位置となる第１支持位置、第２支持位置、及び開放位置の３つの位置を検出する検出センサー４０を備えている。検出センサー４０は、第１検出センサー４１と第２検出センサー４２との２つのセンサーで構成されている。
【００８８】
検出センサー４０は、光学式センサーである。第１検出センサー４１は、発光部から射出される光を、発光部と対向する受光部で受光する。第２検出センサー４２も第１検出センサー４１と同様に構成されている。本実施形態では、受光した場合が「ＯＦＦ」、受光しない場合が「ＯＮ」としている。また、検出センサー４０は、案内部材３０の端部３６で上流側に形成される遮光板３７をそれぞれ挟む形態で上側に第１検出センサー４１、下

側に第２検出センサー４２が設置されている。
【００８９】
図５に示すように、案内部材３０が第１支持位置に位置する場合には、遮光板３７は、第１検出センサー４１、第２検出センサー４２の双方を遮光する。従って、第１検出センサー４１、第２検出センサー４２ともに「ＯＮ」状態となる。図７に示すように、案内部材３０が第２支持位置に位置する場合には、遮光板３７は、第１検出センサー４１を遮光せず、第２検出センサー４２は遮光する。従って、第１検出センサー４１は、「ＯＦＦ」、第２検出センサー４２は「ＯＮ」となる。また、図８に示すように、案内部材３０が開放位置に位置する場合には、遮光板３７は、第１検出センサー４１、第２検出センサー４２の双方を遮光しない。従って、第１検出センサー４１、第２検出センサー４２ともに「ＯＦＦ」状態となる。
【００９０】
制御部２４は、操作パネル２０からの出力モードの入力指示と、これらの検出センサー４０の検出結果と、が異なる場合には、操作パネル２０やインジケーター（図示省略）や報音部（図示省略）などを通して、ユーザーに情報を表示することや、報知することができる。
【００９１】
本実施形態によれば、以下の効果を得ることができる。
【００９２】
本実施形態の記録装置１は、ロール状の長尺媒体である記録媒体に記録を行う記録部１３と、記録部１３に対向して配置され記録媒体を支持する支持部１４と、支持部１４の下流で長尺媒体Ｓを切断して単票媒体Ｓ１とする切断部１５と、を備えている。また、記録装置１は、切断部１５の下流で記録媒体を案内する案内部材３０と、案内部材３０の下流で長尺媒体Ｓを巻き取る巻取部１８と、案内部材３０の下流で単票媒体Ｓ１を収容する着脱可能な媒体収容部としての大容量スタッカー８０と、を備えている。そして、案内部材３０は、大容量スタッカー８０に搬送される記録媒体を支持する第１支持位置と、巻取部１８に搬送される長尺媒体Ｓを支持し、第１支持位置より上方となる第２支持位置とに変位可能である。
この構成により、案内部材３０は、第１支持位置に変位して、大容量スタッカー８０に搬送される記録媒体を支持する。また、案内部材３０は、第１支持位置より上方となる第２支持位置に変位して、巻取部１８に搬送される長尺媒体Ｓを支持する。従って、案内部材３０は、媒体の排出先や媒体の態様などに応じて、適切な排出を行わせることができる。
【００９３】
本実施形態の記録装置１において、案内部材３０は、第１支持位置に配置された場合、支持部１４が記録媒体を支持する位置よりも下方に排出される単票媒体Ｓ１を支持して大容量スタッカー８０に案内する。
この構成により、記録媒体を支持する支持部１４よりも下方に単票媒体Ｓ１が排出される際に、案内部材３０を第１支持位置に配置することで、低い位置に設置される大容量スタッカー８０に導く経路を遮ることを防止することができる。
【００９４】
本実施形態の記録装置１において、大容量スタッカー８０は、案内部材３０の第１支持位置より下方に設置され、単票媒体Ｓ１を収容する。
この構成により、単票媒体Ｓ１を安定して大容量スタッカー８０に導くことができ、単票媒体Ｓ１を複数収容することができる。
【００９５】
本実施形態の記録装置１において、案内部材３０は、第２支持位置に配置された場合、支持部１４が記録媒体を支持する高さ位置で長尺媒体Ｓを支持し、巻取部１８に案内する。
この構成により、支持部１４から案内部材３０に至る間で、記録媒体が下方向に移動することを防ぐことができ、巻取りを行う記録媒体の品質を保護することができる。
【００９６】

本実施形態の記録装置１は、切断部１５の下流に排出ローラー対１６を有し、案内部材３０の長尺媒体Ｓを案内する案内面３０ａの曲率は、排出ローラー対１６のうち下側に配置される駆動ローラー１６１の外周の曲率よりも小さく設定されている。

この構成により、案内部材３０の長尺媒体Ｓを案内する案内面３０ａを長尺媒体Ｓが摺動した場合、長尺媒体Ｓの品質を保護することができる。特に、写真用紙を巻き取る場合、写真用紙に有するコート層を保護することができる。

【００９７】

本実施形態の記録装置１において、案内部材３０は、第２支持位置に配置された状態において、排出ローラー対１６が長尺媒体Ｓを挟持する高さ位置で長尺媒体Ｓを案内する。

この構成により、案内部材３０が、排出ローラー対１６が長尺媒体Ｓを挟持する高さ位置で長尺媒体Ｓを案内することで、排出ローラー対１６の下側のローラーとなる駆動ローラー１６１に長尺媒体Ｓが巻き付くことを抑制させることができる。

【００９８】

本実施形態の記録装置１において、案内部材３０は、第２支持位置に配置された状態において、搬送方向Ａの下流側から記録部１３に単票紙やボード紙などの単票媒体を供給する際に、単票媒体を支持する。

この構成により、案内部材３０が第２支持位置に配置された状態で、搬送方向Ａの下流側から上流側（搬送方向Ａとは反対方向）に向かって記録部１３に単票媒体（単票紙やボード紙など）を供給することにより、第１支持位置に配置された状態で、搬送方向Ａの下流側から上流側に向かって記録部１３に単票媒体を供給することに比べて、容易に供給することができる。従って、搬送方向Ａの下流側から上流側に向けて媒体を供給する場合、適正な位置に案内部材３０が配置されることにより、搬送方向Ａとは反対方向に向けての供給を安定させることができる。

【００９９】

本実施形態の記録装置１において、案内部材３０は、第２支持位置より上方で、記録装置１の内部にアクセス可能な開放位置に変位可能である。特に、本実施形態では、廃液ボックス９０にアクセス可能となり、廃液ボックス９０を着脱することができる。

この構成により、案内部材３０の利便性を向上させることができる。また、案内部材３０の操作と同様に、廃液ボックス９０を前方向から操作（着脱）することができ、動作効率を向上させる。

【０１００】

本実施形態の記録装置１において、案内部材３０は、搬送方向Ａの上流側に回動軸３１を有し、回動軸３１を中心に回転して変位する。

この構成により、案内部材３０を変位させる場合、回動軸３１を中心に回転することでよいため、案内部材３０をスムーズに変位させることができる。

【０１０１】

本実施形態の記録装置１において、案内部材３０の位置を検出する検出センサー４０を備え、案内部材３０の位置と、出力モードとが不一致の場合に報知する。

この構成により、案内部材３０を手動で変位させる場合にも、案内部材３０の位置と、出力モードとを一致させることができる。また、案内部材３０の位置が不意に変化した場合などにも、適切に対応することができる。

【０１０２】

本実施形態の記録装置１は、案内部材３０に設置される係合部５０と、記録装置１の内部に設置され、係合部５０を受ける係合受け部７０と、を有し、案内部材３０は、係合部５０が係合受け部７０に係合することにより、それぞれの位置に位置決めされる。

この構成により、案内部材３０は、適正な位置で固定され、その位置を保持することができる。

【０１０３】

２．変形例１

本実施形態では、案内部材３０が、第１支持位置に位置している状態において、大容量

スタッカー８０を用いて単票媒体Ｓ１を排出している。しかし、これには限られず、大容量スタッカー８０を用いずに、排出口１７１から排出される単票媒体Ｓ１をユーザーが受けてもよい。また、記録装置１に内蔵される簡易スタッカー１９を用いて、排出口１７１から排出される単票媒体Ｓ１をネットに収容することでもよい。

【０１０４】

３．変形例２

本実施形態では、巻取部１８で巻き取られる記録媒体は、写真用紙などの曲げ剛性が大きい長尺媒体Ｓとしているが、これには限られず、普通紙を巻き取ることでもよい。

【０１０５】

４．変形例３

本実施形態では、案内部材３０が第２支持位置に位置する場合、搬送方向Ａの下流側から上流側（搬送方向Ａとは反対方向）に向かって記録部１３に単票媒体（単票紙やボード紙など）を供給することができるとしている。しかし、これには限られず、筐体１０の後面側に開口部（図示省略）を設け、この開口部から単票媒体（単票紙やボード紙など）を記録部１３に供給する構成とすることでもよい。

【０１０６】

５．変形例４

本実施形態では、手動により案内部材３０を変位させている。しかし、これには限られず、自動で変位させることでもよい。その場合、案内部材３０の変位を制御する制御部（図示省略）と、案内部材を第１支持位置と第２支持位置とに変位させる駆動部（図示省略）と、を備え、制御部は、排出される記録媒体の態様に応じて駆動部を駆動させ、案内部材を、第１支持位置と第２支持位置とに変位させる構成とすることができる。なお、駆動部は、モーターや各種ギヤ、リンク機構などにより構成し、モーターの回転によりギヤ及びリンク機構などに駆動力が伝達されて、案内部材３０を変位させる。

この構成とすることにより、ユーザーが手動で案内部材を変位させる必要が無く、制御部が、排出される記録媒体の態様に応じて駆動部を駆動して、案内部材を第１支持位置と第２支持位置とに変位させることができる。併せて、開放位置にも変位させることでよい。

【０１０７】

６．変形例５

上記、変形例４において、制御部は、排出される記録媒体の態様を、切断処理の有無、媒体収容部の装着の有無により判断することでもよい。これにより、記録媒体の態様に対応させて、適切に記録媒体を排出させることができる。

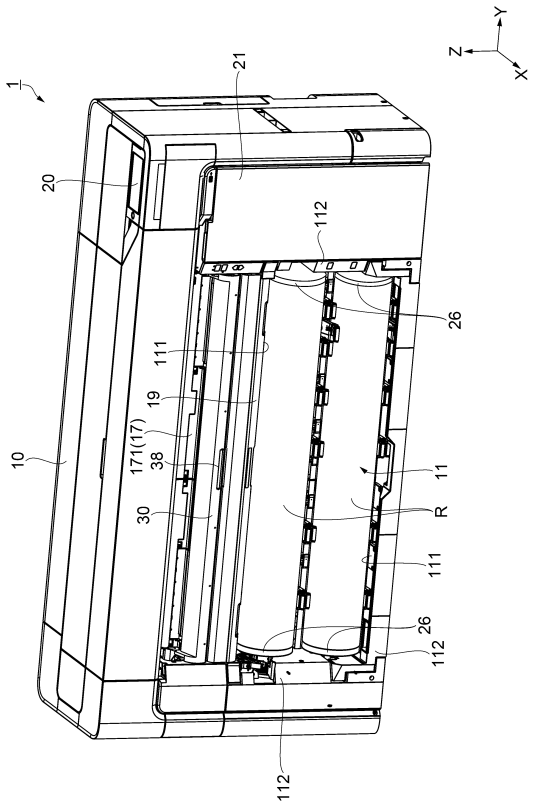
【符号の説明】

【０１０８】

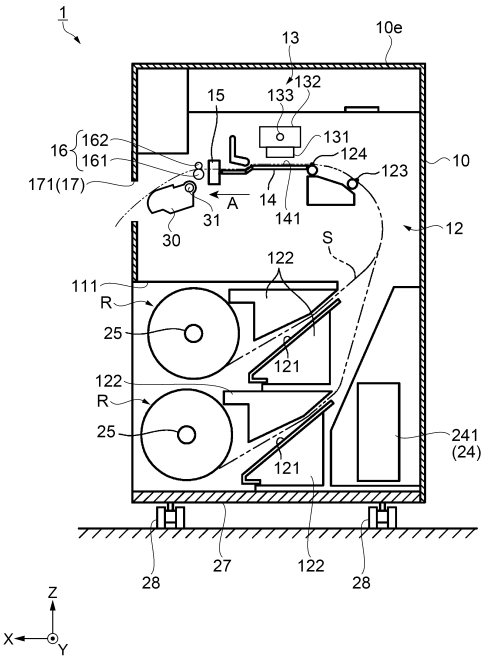
１…記録装置、１４…支持部、１５…切断部、１６…排出ローラー対、１８…巻取部、２４…制御部、３０…案内部材、３０ａ…案内面、３１…回動軸、４０…検出センサー、５０…係合部、６０…係合解除板、７０…係合受け部、８０…媒体収容部としての大容量スタッカー、９０…廃液ボックス、１６１…駆動ローラー、Ａ…搬送方向、Ｒ…ロール紙、Ｓ…長尺媒体、Ｓ１…単票媒体。

【図面】

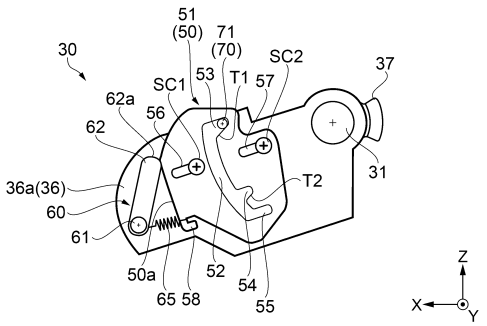
【図１】


1
21
20
112
26
111
19
171(17)
38
30
10
11
R
111
26
112
112
Y
Z
X

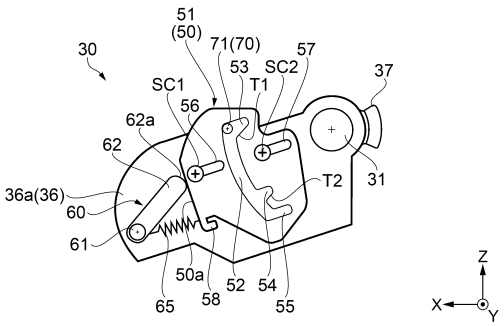
【図２】


1
13
10e
132
15
133
131
124
123
10
16
162
161
171(17)
A
14
141
31
30
12
S
122
111
R
25
121
122
R
25
121
241
(24)
28
27
122
28
Z
X
Y

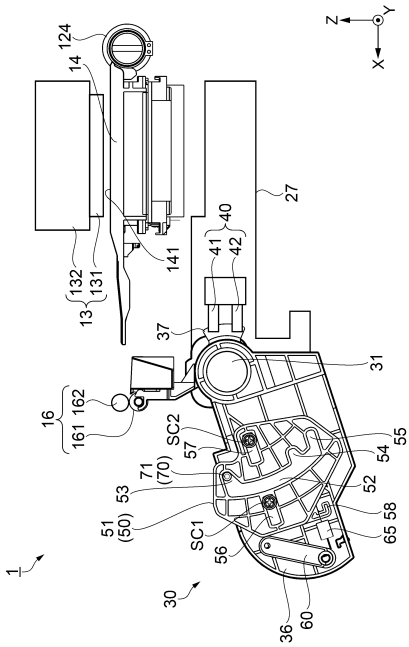
【図３】


30
51
(50)
71
(70)
SC2
37
SC1
53
T1
57
62a
56
62
36a(36)
T2
31
60
61
50a
52
54
65
58
55
Z
X
Y

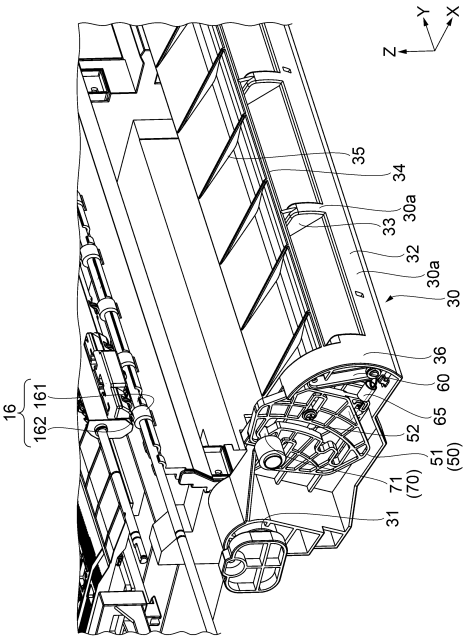
【図４】


30
51
(50)
71(70)
57
53
SC2
37
SC1
T1
56
62a
62
36a(36)
T2
31
60
61
50a
52
54
65
58
55
Z
X
Y

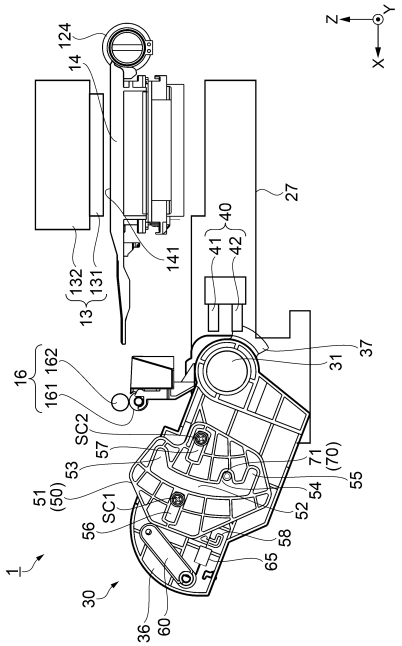
【図５】


Z
Y
X
124
14
27
40
41
42
141
132
131
13
37
31
16
162
161
SC2
57
54
55
71
(70)
53
52
51
(50)
58
65
SC1
56
1
30
36
60

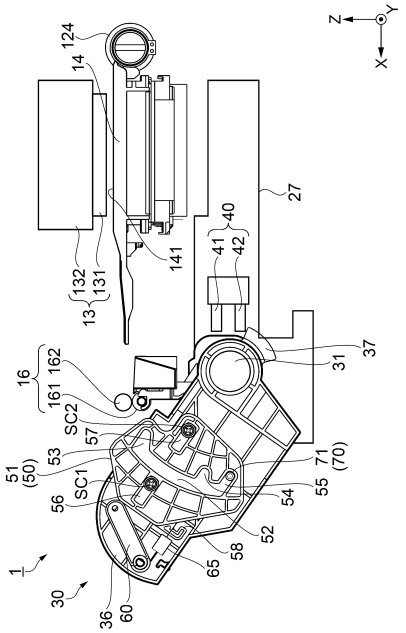
【図６】


Z
Y
X
35
34
30a
33
32
30a
30
36
60
65
52
51
(50)
71
(70)
31
16
162
161

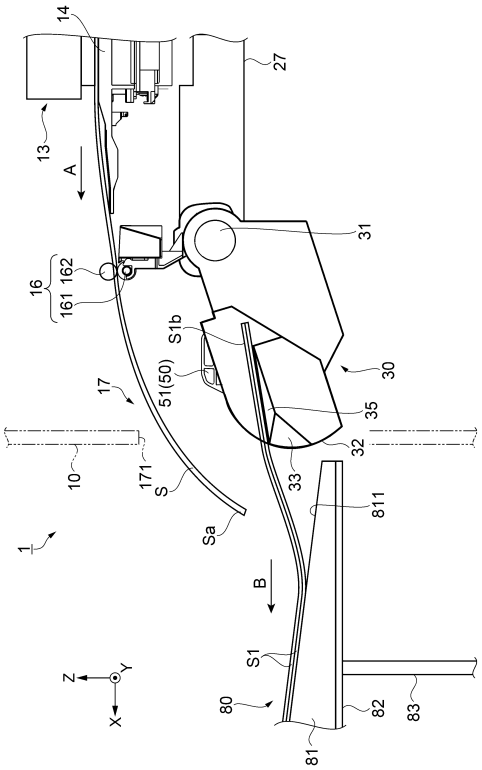
【図７】


Z
Y
X
124
14
27
40
41
42
141
132
131
13
37
31
16
162
161
SC2
57
53
71
(70)
55
51
(50)
54
52
SC1
56
58
65
1
30
36
60

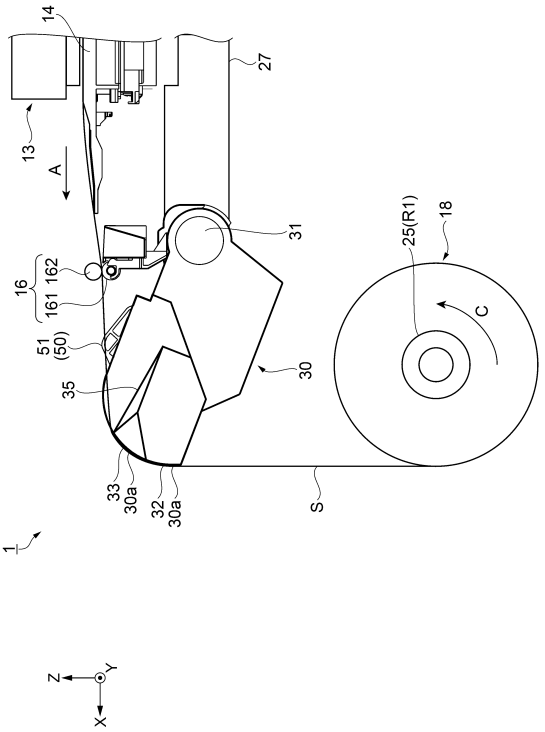
【図８】


Z
Y
X
124
14
27
40
41
42
141
132
131
13
37
31
16
162
161
SC2
57
53
71
(70)
51
(50)
55
56
SC1
54
52
58
65
1
30
36
60

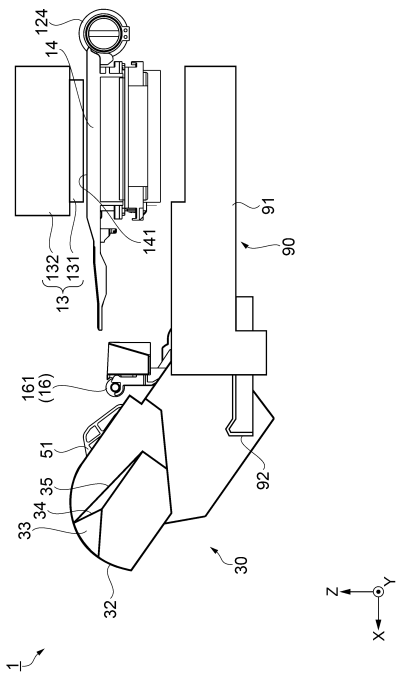
【図９】


14
27
13
A
31
16
161 162
S1b
30
51(50)
17
35
32
10
171
S
33
811
1
Sa
B
S1
Z
Y
X
80
82
83
81

【図１０】


14
27
13
A
31
25(R1)
18
16
161 162
C
51
(50)
30
35
33
30a
32
30a
S
1

【図１１】


124
14
91
90
141
132
131
13
161
(16)
51
35
34
33
92
30
32
Z
Y
X
1

フロントページの続き

(56)参考文献　特開２０１６－０９７５２７（ＪＰ，Ａ）
特開２００６－０８２４１８（ＪＰ，Ａ）
特開２０１３－２４０８９１（ＪＰ，Ａ）
特開２０１０－１３７３６６（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野　(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｂ４１Ｊ　１５／０４
Ｂ４１Ｊ　２／０１
Ｂ４１Ｊ　１１／７０
Ｂ６５Ｈ　７／１４